

# ダンピング症候群に対する桂枝湯類の使用経験



## 長坂 和彦 先生

諏訪中央病院 東洋医学センター長

1987年 富山医科薬科大学 医学部 卒業

同 年 同附属病院 和漢診療部 入局

1998年 諏訪中央病院 東洋医学センター長

### はじめに

漢方は体調に合わせて薬を処方するため、複数の症状が同時に改善することを経験する。そこで、演者自身が驚いたダンピング症候群に対する桂枝湯の使用経験について紹介する。

### 症 例 1

**症 例：**57歳 男性。

**主 訴：**ふるえ、眼のかすみ。

**既往歴：**27歳時に胃下垂全摘術(Billroth I法)、その後に腰部脊柱管狭窄症の手術(6回)を受けている。

**現病歴：**手術後から、食後10分～4時間にふるえたり眼がチカチカしてぼやける感じがするようになった。症状は空腹時に起こりやすく、症状発現時の血糖値は53mg/dLと低下していた。これらの症状は、食事摂取によって改善する。徐々に痩せてきたため、症状の改善を期待して当科を受診した。

**臨床経過：**和漢診療学的所見(図1)から桂枝湯証と判断し、桂枝湯エキス5.0gを処方した。桂枝湯服用1ヵ月後に、ダンピング様症状は10回から2回に減少し、その後、症状が消失したため廃薬としたが再発はない。

### 図1 症例1：和漢診療学的所見

#### 自覚症状

だるい、疲れやすい

#### 他覚症状

上半身は汗をかくが、下半身は汗なし

**脈 候：**やや浮、やや大

**舌 候：**やや紫、湿潤した白苔で覆われている

**腹 候：**腹力はやや軟弱で小腹不仁、臍上悸、腹直筋の攣急、臍傍圧痛を認める

### 症 例 2

**症 例：**63歳 男性。

**主 訴：**発汗、易疲労感。

**既往歴：**57歳時に胃下垂全摘術(Billroth I法)を受けている。

**現病歴：**ここ1～2年、食後20～30分に発汗と疲労感を自覚するようになった。立ちくらみと冷えが強く、下痢をしやすい。焼肉は良いが、他の油ものや乳製品などを食べると下痢をしてしまう。何でも食べられるようになることを希望して当科を受診した。

**臨床経過：**和漢診療学的所見(図2)から、症例1と同様に桂枝湯証と判断し、桂枝湯エキス7.5gを処方した。桂枝湯服用3ヵ月後には冷や汗をかかなくなり、大きな声が出

## 図2 症例2：和漢診療学的所見

### 自覚症状

だるい、冷える

脈候：やや浮、やや弱

舌候：やや紫、中等度の白苔で覆われている

腹候：腹力はやや軟弱で心下痞鞭、小腹不仁  
腹直筋の攣急を認める

て元気になった。食事もおいしくなり、下痢もしなくなったということで、初診から9ヵ月後には廃薬とした。

## まとめ

ダンピング症候群は虚証、脈浮、自汗、上衝など、まさに桂枝湯証を呈しやすいと思われる。桂枝湯を胃腸の病変に用いることについて、『宋板傷寒論』の276条に「太陰病脈浮者可發汗宜桂枝湯」と記載されているように、昔から太陰病に用いることが記載されている。

その後、ダンピング症候群に対する桂枝湯の効果を検討した症例を蓄積したところ、脈浮の場合は桂枝湯、脈沈の場合は桂枝湯の加味方である桂枝加芍薬湯が良いと考えられる。これまで、腹直筋の攣急で桂枝湯と桂枝加芍薬湯を使い分ける機会もあったが、桂枝湯を選択する場合は、脈浮に注目した方が良いと考える(図3)。

この他にも桂枝湯は、『金匱要略』において、婦人で妊娠

## 図3 ダンピング症候群に桂枝湯類

- ① ダンピング症候群は、虚証、脈浮、自汗、上衝などの桂枝湯証を呈しやすい。
- ② 宋板傷寒論276条  
「太陰病脈浮者可發汗宜桂枝湯」
- ③ 脈浮の場合は桂枝湯、脈沈の場合は桂枝加芍薬湯がよい。

## 図4 『金匱要略』婦人妊娠病脈証併治

### 『金匱要略』婦人妊娠病脈証併治

「婦人得平脈。陰脈小弱。其人渴。不能食。無寒熱。名妊娠。桂枝湯主之。」

→ 桂枝湯で脾胃を調える

### 『金匱要略』桂枝加竜骨牡蠣湯条

「夫失精家。少腹弦急。陰頭寒。目眩。髮落。脈極虛孔脈遲。爲清穀亡血失精。脈得諸孔動微緊。男子失精。女子夢交。桂枝龍骨牡蠣湯主之。」

→ 極虚の状態に桂枝湯の加味方

を機に食べられなくなったときに用いる、また脈虚のときにも用いることが記載されている(図4)。

桂枝湯がダンピング症候群に著効を示すという、演者自身が驚いた症例を紹介した。桂枝湯は非常に幅広く使用できる処方であり、是非、応用していただきたいと考える。

## Comment

寺澤：吉益東洞の最大の業績は、『類聚方』という書物を著わしたところにあります。たとえば、太陽病の中風や大陰病など、方々に記されていた桂枝湯の条文をまとめて、桂枝湯がどのようなスペクトラムで用いられるべき処方であるかを新ためて認識させたところにあります。そして、桂枝湯証にうまく合えば、風邪だけではなくダンピング症候群にも有効であることを、この2症例は明らかにしてくれました。桂枝湯がダンピング症候群症状に効果があるとの報告は過去にありませんが、桂枝湯は風邪の初期に用いるだけの処方と、限定した使い方をしてはならないことを改めて認識しましたし、これからも使ってみようと思いました。